



SDGs 未来都市



埼玉県

# 住み続けられるまちづくり ～これが「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」！～

令和5年1月13日

都市整備部 市街地整備課

# 3 要素に関する施策例 コンパクト

## 【コンパクト】 必要な機能が集積し ゆとりある“魅力的な拠点”を構築

### 【コンパクト】 の施策例

#### ● 駅周辺や地域における拠点形成

- ・ 再開発事業、区画整理事業などによる都市機能の集積
- ・ 団地再生、公共施設跡地や空き店舗の利活用  
(行政施設、交流拠点、医療、福祉、子育て施設、商業店舗、サテライトオフィスなど)



和光市駅北口の再開発事業イメージ図  
(出典 和光市区画整理だより第87号)

#### ● ウォーカブルなまちづくり 居心地が良く歩きたくなるまちづくり

- ・ 歩行空間の創出…歩道の広幅員化、車線数の減
- ・ にぎわい創出…オープンカフェ、移動販売車



丸の内仲通り  
(出典 官民連携まちづくりポータルサイト)  
大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会  
+ NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会

#### ● エリアマネジメントによる地域価値の向上

- ・ 地域住民や民間事業者で組織をつくり、地域活動に取り組む

# 3 要素に関する施策例 スマート

## 【スマート】 新たな技術の活用などによる“先進的な共助”を実現

### 【スマート】 の施策例

#### ●公共交通、自転車利用促進

- ・自動運転バス、AIオンデマンドタクシー、シェアサイクル、MaaS

#### ●スマート街灯

- ・防犯カメラ、通信機器、LED照明、サイネージ、スピーカー

#### ●地域アプリ、デジタルサイネージ

- ・商店街活性化、観光、防災に活用

#### ●3D都市モデルの活用

- ・災害リスクの可視化、再生可能エネルギーのポテンシャル

#### ●IoTセンサーを利用した高齢者見守り

- ・IoT電球



茨城県境町 自動運転バス



3D都市モデル活用事例

浸水範囲に応じた適切な避難ルートを検索・可視化  
(出典 国交省 ユースケース開発ガイド-自治体編)

# 3 要素に関する施策例 レジリエント

## 【レジリエント】誰もが安心して暮らし続けられる“持続可能な地域”を形成

### 【レジリエント】の施策例

#### ●創エネ、省エネ、蓄エネの仕組みを備えた住宅の面的整備

- ・災害等による停電時でも、  
街区内の太陽光・蓄電池・EVにより継続して電力供給  
(例) 浦和美園「スマートホーム・コミュニティ」



チャージエリア  
(蓄電池、EV、EV充放電器など)



浦和美園  
スマートホーム・コミュニティ

#### ●災害時にもエネルギー供給が途絶えない一時避難所の設置

- ・駅前再開発ビルに帰宅困難者の受け入れスペース設置

#### ●民間施設との連携による浸水時一時避難所の確保

- ・大型物流倉庫を地域住民の一時避難施設へ  
(例) 三郷市と大和ハウス工業が協定締結

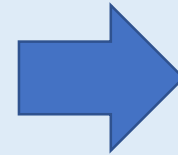


# 市町村への伴走型支援①

各市町村の状況に応じた技術支援の実施（個別訪問、Zoom）

## 未エントリーの市町村

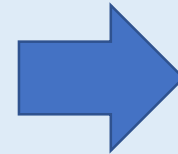
- ・ 課題のヒアリング
- ・ 課題に応じた3要素の施策の提案



エントリーへ

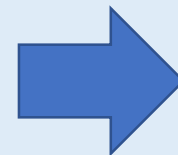
## エントリーしていただいた市町村

- ・ 事業手法、事業スキームの提案



地域まちづくり計画作成

- ・ 事業実施ノウハウの提供



効率的、効果的な事業実施

※県からの技術支援については、民間のノウハウも活用

※今後は、広域連携も意識

# 市町村への伴走型支援②

## ●先進事例の視察研修

さいたま市美園「スマートホーム・コミュニティ」

- ・コモンスペースによるコミュニティ醸成
- ・電線地中化
- ・街区内に電力を供給するチャージエリアなどを視察



## ●相談会の開催（Zoom開催）

各回	開催日	テーマ	参加市町村数
第1回	令和4年11月28日	スマートシティ街区の創出	27（57名）
第2回	令和4年12月23日	エリアマネジメント	29（48名）
第3回	令和5年1月（予定）	エリアリノベーション	-
第4回	令和5年2月（予定）	ウォーカブルなまちづくり	-

# 市街地整備課 その他の役割

- 事務局であるエネルギー環境課との調整  
一緒に市町村訪問し、エントリーを働き掛け →Zoom活用
- 都市整備部内の連携・調整
  - 都市整備政策課 (出歩きやすいまちづくり)
  - 都市計画課 (3D都市モデル)
  - 公園スタジアム課 (県営公園)
  - 建築安全課 (空き家対策)
  - 住宅課 (空き家対策、県営住宅整備)
  - 営繕課、設備課 (ZEB)
- 他部局との連携・調整
  - 県土整備部 (ウォーカブルなまちづくり (県道))
  - 産業労働部 (サテライトオフィス)

# ある日のスケジュール

時 間	内 容
8 : 1 0	登庁 メール、スケジュールチェック
8 : 3 0	部内検討会の準備作業（資料の最終調整）
1 0 : 0 0	部内検討会をZoomで開催（進捗状況の情報共有）
1 1 : 0 0	来年度予算資料の作成
1 2 : 0 0	昼休み（自席で昼食）
1 3 : 0 0	来年度予算資料の作成
1 6 : 0 0	委託業者とZoom打合せ（事例収集の選定について）
1 7 : 3 0	退庁



# 職場の様子



昨年度 スマートオフィス化



総務・都市再生支援担当

- ・ペーパーレスの徹底
- ・打合せは大型モニター使用

- ・テレワークも実施
- ・フレックス制（子育て）



集中スペース

# 建築職として

- 仕事をする上であまり職種の違いは感じていません。
- 違う職種とワンチームになりプロジェクトを推進  
現在の担当  
主幹（土木1・建築1）、主査（土木1）、  
市町村からの派遣（事務職2）
- 建築職は、建築物単体からまちづくりまで、幅広く対応  
1級建築士、建築基準適合判定資格者の資格取得が必要
- 仕事のやりがいを感じています！  
行政も環境の変化に応じて対応していくことが必要です。  
特に現在の業務は、進め方も考えながらなので、  
毎日刺激があります。